

PRESS RELEASE

報道機関各位



学園事務局 総務課
熊本市中央区九品寺2丁目6-78
TEL 096-364-0116

平成27年7月13日

【 尚綱大学・尚綱大学短期大学部 】

平成27年度「尚綱公開講座」の開催について

このことについて、下記のとおり平成27年度「尚綱公開講座」を開催いたしますので、お知らせします。

記

1. 日 時 平成27年8月31日(月)～平成27年9月4日(金)
2. 場 所 九品寺キャンパス大学1号館 10階ホール
熊本市中央区九品寺2丁目6番78号
3. 内 容 10講座 詳細は別添リーフレット参照。
4. 受講者 男女、年齢に関係なく、受講可。
5. 受講料 受講する講座数に関係なく、資料代実費として2,000円。
受講者には当日講義録を配布。
6. 受付期間 平成27年7月13日(月)～平成27年8月24日(月)
7. 申込方法 はがきに①郵便番号、②住所、③氏名(フリガナ)、④年齢と性別、
⑤電話番号、⑥受講希望講座名、⑦前回受講の有無、⑧懇談会の出・欠
を書いて申込。当学園webページ又はE-mailでも申込可。
8. 申込先 〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78
尚綱学園内 尚綱公開講座係
尚綱学園webページ <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/>

※送付資料 3 枚(本紙を含む)

【本件に関わる問い合わせ先】

担当部署： 尚綱公開講座係

担当者名： 島崎 三和子

電 話： 096-362-2011

e-mail : kokai@shokei-gakuen.ac.jp

平成 27 年 度

尚 綱 公 開 講 座

メインテーマ

人 間 探 求

- 地域コミュニティと暮らし -

学校法人尚綱学園恒例の公開講座を開催します。
皆様多数のご来場をお待ちしております。

主催： 尚綱大学・尚綱大学短期大学部

後援： 熊本県

開講日時と講座内容

| 開 講 日 | I (9 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0) | II (1 1 : 1 0 ~ 1 2 : 4 0) |
|--------------|---|---|
| 8月31日 (月) | 開講式 食生活の変化と健康 尚綱大学生生活科学部准教授 守田真里子 | 地域の動きと暮らしの変化 尚綱大学文化言語学部教授 山中守 |
| 9月1日 (火) | 霞んで見える日も増えました ～PM2.5などによる健康被害を防ぐには～ 尚綱大学短期大学部総合生活学科教授 中嶋弘二 | 詩人・坂村真民の詩作とその生涯 ～詩人の軌跡と尚綱～ 尚綱大学短期大学部幼児教育学科教授 安川正雄 |
| 9月2日 (水) | 英国のくま ～プーとパディントン～ 尚綱大学短期大学部幼児教育学科准教授 市川文子 | 図書館による地域活性化 ～コミュニティの拠点としての図書館～ 尚綱大学文化言語学部准教授 桑原芳哉 |
| 9月3日 (木) | 食べる機能と認知症 ～最期まで自分らしく生きるための食事～ 尚綱大学短期大学部食物栄養学科助教 本田順子 | 日本の人口統計から何が見えるか？ 尚綱大学生生活科学部教授 井上稔 |
| 9月4日 (金) | 女と靴下は本当に強くなったのか!! ～足元からの男女共同参画～ 尚綱大学文化言語学部客員教授 越地真一郎 | 製品の安全な使用について ～法律学と経済学の観点から考える～ 尚綱大学・尚綱大学短期大学部前学長・名誉教授 大羽宏一 |

※ 閉講式後に「受講者と講師の懇談会（茶話会）」を開催します。

開講場所： 九品寺キャンパス大学1号館 10階ホール
熊本市中央区九品寺2丁目6番78号

受講者： 男女、年齢に関係なく、受講できます。

受講料： 受講する講座数に関係なく、資料代実費として 2,000 円を
ご負担いただきます。

受講申込： 受付期間 7月13日（月）～8月24日（月）

はがきに ①郵便番号、②住所、③氏名（フリガナ）、④年齢と性別、
⑤電話番号、⑥受講希望講座名、⑦前回受講の有無、⑧懇談会の出・欠
を書いてお申し込みください。

なお、当学園webページ又はE-mailでもお申し込みできます。

個人に関する情報は、公開講座に関してのみ使用させていただくことを
申し添えます。

※ 1) 受講される方には受講証をお送りし、当日講義録をお
渡しします。

2) 全講座を受講された方には「修了証書」を授与します。

3) 本年度中（平成28年3月まで）尚綱大学図書館（本館）を利用いただけます。

申込先

〒862-8678

熊本市中央区九品寺2丁目6-78
尚綱学園内 尚綱公開講座係
☎ 096-362-2011

尚綱学園webページ

<http://www.shokei-gakuen.ac.jp/>

E-mailアドレス

kokai@shokei-gakuen.ac.jp

※ お問い合わせも「公開講座係」に
お願いします。



尚綱大学
尚綱大学短期大学部

SHOKEI

平成27年度「尚綱公開講座」各講義の概要

テーマ：「人間探求 ～地域コミュニティと暮らし～」

| 講師名 | 講義概要 |
|-------|--|
| 守田真里子 | 日本は「飽食」と言われるほど食生活が豊かになった反面、郷土料理等これまで受け継がれてきた地域の食文化は失われつつあります。また生活習慣病等、食に起因する健康問題も増加しています。そこで、食文化伝承の大切さや時代とともに変化する学校給食の役割を紹介するとともに、これから健康な暮らしを維持していくためのメタボやロコモティブシンドローム対策についても論じていきます。 |
| 山中守 | 世の中は急速に変化してきました。特にインターネットを中心にした情報社会が進むことにより仕事の仕方や人間関係、さらに暮らし方まで大きく変化しています。便利なことは多いのですが不安もあります。具体的な事例を用いて暮らしの変化について考え、経験豊かなお年寄りの知恵と若者のパワーを結び付ける地域再生の方法について実践事例を基にして提案します。 |
| 中嶋弘二 | 私たちを取り巻く大気（空気）を汚す一番の要因は、自動車の排ガスです。さらに、中国から渡ってくる黄砂やPM2.5などの越境汚染も深刻な状況になってきており、霞んで見える日も増えてきました。20年を超える大気汚染測定運動の取り組みを振り返りながら、「熊本の大气汚染の状況」や「健康被害を防ぐ方法」についてお話しします。 |
| 安川正雄 | 詩人・坂村真民（熊本県荒尾市出身・平成18年97歳没）は、珠玉の詩作とその生き方とを併せて共感の輪が国内外において広まり、詩は多くの人びとに愛読されています。また、平成15年熊本県近代文化功労賞を受賞するなど社会教育においても、多大の貢献を行っていることから、坂村真民の業績を生涯にわたって検証し、郷土が生んだ希有な詩人の特質についてお話しします。 |
| 市川文子 | 世界中で愛されている「くまのプーさん」。一方、世界中に知れ渡っているのになぜか日本ではそれほどなじみのない「パディントン」。それぞれ住む世界が異なりますが、彼らが引き起こす愉快的騒動は当時の英国の生活そのものを示しており、興味深いものがあります。英国の暮らしを視点に2つの作品を改めて紹介し皆様と楽しみながら読み解きたいと思います。 |
| 桑原芳哉 | 全国各地で、図書館を「核」として地域の活性化を図るという事例に注目が集まっています。「本を借りる」「勉強する」という、従来の図書館のイメージに留まらない、各地の図書館の姿を紹介し、図書館が地域コミュニティにもたらす「効果」について、考えてみましょう。 |
| 本田順子 | 食は暮らしの中に絶対欠かせないもの。人は誰でも最期までおいしいものを食べたいと願っています。しかし要介護状態になると、おいしく食べることができなくなるだけでなく、自分らしさまで奪われていきます。本講義では食べる機能と自分らしさとのつながりをお話します。また食べる機能が低下した時の食事の工夫について、高齢者施設での最新の取り組みをご紹介します。 |
| 井上稔 | 昨年「東京一極集中が招く人口急減」と話題になりましたが、これは人口統計にはっきり表れています。さらに各県では県庁所在地に人が集まり、遠隔地では人口が流出しています。日本全体では少子高齢化が進行しています。団塊の世代の人々が65歳を越え、後は生産年齢人口が減るばかりです。今後のことを御一考願います。 |
| 越地真一郎 | 昭和28年ごろ、「戦後、強くなったのは女と靴下（ストッキング）」という言葉が流行したそうです。それから約60年。靴下はともかく、女性は果たして本当に強くなったのかどうか。新聞記事を手掛かりに、今日の女性の置かれた社会状況を見るとともに、その突破口として足元（地域）からの男女共同参画の在り方を考えます。 |
| 大羽宏一 | わが国の製品が諸外国の方々から評価されているのは、製品の安全性が高いからだといえることができます。安倍首相が「消費者の安全・安心を確保する」と演説（第183国会施政方針）し、世界で一番の国を指向しようとするれば、事業者側では製品の安全を窮め、もって安全・安心な社会の醸成を目指して行かなければならないということになります。これに関しては法律学的や経済学的に様々な論点がありますが、ここでは消費者側から考えてみることにします。 |